



学校だより

Jobu Junior high school

信頼を築く学校

茅野市立

東部中学校

令和6年度 文責 濱 喜一郎

発行日 7月23日(火)

一学期終業式 校長講話(概要)

こう どう
幸 動

ひろげよう つながろう ふかめよう

自分から 凡事徹底 利他心

茅野市立東部中学校

今日で、1学期が終了します。4月4日の入学式、始業式で今年度が始まり、今日で今年度の始まりの1学期が終了となります。東部中学校の生徒は395人。その一人一人、395の1学期がありました。今、各学年の代表として素敵な話をしてくれた3名の皆さんも、1学期、それぞれのがんばりがあったことを教えてくださいました。

1学期のスタートの時に皆さんにお話ししたのが、この「幸動」でした。「自分とみんなの幸せ」のために、みんながやっているからとか、なんとなくとか、言われたからとかではなく、しっかり自分

で考えて行動しようということが基本になります。これが「考動」です。しっかり考えること、それが大切です。そして、しっかり考えて、自分とみんなの幸せに繋がることを、自分からどんどん実際の行動に移していく、それが「幸動」になります。さあ、この1学期、70日を越える登校日数の中で、皆さんはどんな「幸動」ができたでしょうか。そしてどんな「幸動」を見たり、聞いたり、感じたりしたでしょうか。

ここで時間を少しだけ取りますので、周りの人と、ちょっとリラックスして、どんな「幸動」ができたか、どんな「幸動」を見たり、聞いたり、感じたりしたか、話してみてください。うまく言えなくても、こんな「幸せ」を自分や自分たちは感じたということでもよいです、この後、ぜひ出してみてください。

みんなの出してくれた「幸動」が、「ひろげよう」「つながろう」「ふかめよう」であり、「自分から」「凡事徹底」「利他心」ということに深く関わっています。

「凡事徹底」について、少し話をします。昨日、みんなの掃除の様子を少し、見させていただきました。それぞれの清掃場所でそれぞれの清掃の姿があります。隙間なく床を磨き、また埃を逃さないようにホウキをかけていく、黙々とトイレを磨き上げる姿がありました。きっと、普段から毎日毎日、精一杯に限られた時間の中で、自分と向き合い、当たり前前のことを当たり前、思いっきり徹底をしているのでしょう。その姿は、「凡事徹底」の姿そのものでした。その姿は、ほめられたいとか、かっこつけているとかではなく、一心に自分のやるべきこと、任された責任を果たしている姿でした。これも、自分とみんなの幸せに繋がる素晴らしい姿だと強く感じました。

こうした、毎日ある、何でもないことを、精一杯にやりきる、徹底する、それは、簡単なことではありません。それは、本気になってやろうとすればするほど、その難しさを感じるかもしれません。だからこそ、価値があり、「幸動」となっていきます。それは、以前に話をした、あいさつ一つとってもそうですし、下駄箱への靴の入れ方も、給食の準備もそうです。そこに感動するような素晴らしい姿で取り組んでいる生徒が、この東部中学校にはいます。そんな仲間の姿をしっかり感じ合い、お互いに高め合っていけたら、最高ですね。

今年度、うれしいなと感じながらみんなの様子を見させてもらったことはいくつもあるのですが、その中でも生徒会で進めてくれた「ハッピータイム」はとても印象深いです。これまでに2回、生徒会本部の皆さんが放送で全校生徒をリードしながら、各クラスで班になり、お互いのよさを伝え合いました。

「笑顔が素敵、がんばり屋さん」「明るく返事してくれる」「みんなが嫌がることでも積極的にやる」「とに



かく優しい、話を聞いてくれる」「自分の意見が言える」「気がつかえる」等々、みんなでお互いのよさを伝え合い、それを記録し、廊下に掲示をしました。



その言葉もとても良かったのですが、何が印象に残っているかというと、この「ハッピータイム」をやっているときの、各クラスの雰囲気です。クラスの中に温かい空気が満ちていて、ほんわかした、何とも言えない幸せな空間になっていました。それは、お互いのよさ



を伝え合うということで、みんなの口から沢山の温かい「ほんわか言葉」が次々にあふれ、それがクラス中に広がっていたからです。まさに「幸動」の姿そのものでした。人権教育の時に話をさせてもらいましたが、温かい言葉は人の心を幸せにします。逆に、ギスギス、チクチクした言葉は人の心を傷



つけます。この「ハッピータイム」は、そのことを皆さんの姿で教えてくれました。こんな時間や空間をつくり出せる東中、そして、皆さんは、本当に素晴らしい、そんな幸せな気持ちになりました。



そんな 1 学期が今日で終わります。一人一人に、いろんな思いがあるでしょう。ここまで話してきたような「幸せ」もあれば、うまくいかなかったことや悔しかったことや失敗もあったかもしれません。ここで、一区切りです。この 1 学期をしっかりと振り返り、もっと、もっと、自分とみんなの幸せを求めて、「幸動」を積み重ねていきましょう。そして、「もっとこうだったなあ」という思いは、次へと繋げていけばいいのです。明日からの 30 日間の夏休みで、1 学期の振り返りを基に、最高の時間を作り出してってください。

最後に、この夏休み、一番大事にすることは、皆さんの健康と安全です。かなり暑い夏になると言われています。熱中症、十分に注意してください。また、コロナも増加傾向と言われています。自転車をはじめ交通事故や水の事故にも十分注意をしてください。また、ネットや SNS の使用は、これまで同様にルールを守って、適切に使用しましょう。やり過ぎ注意ですよ。

その上で、自分にとって、最高の夏休みとしてください。1 年生は中学生になったこの 1 学期を基に、2 学期の目標をしっかりと持てるようにしましょう。2 年生は、中学校生活の折り返し点が近づいてきています。どんな自分になりたいかじっくり考え、具体的に行動していきましょう。そして、3 年生は、中学校生活最後の夏休みです。懇談会も行われますが、進路決定への努力も含め、自分にとって史上最高の夏休みにしてください。夏休みも「幸動」です。そして、「凡事徹底」です。2 学期始業式で皆さんの元気な顔に出会えることを楽しみにしています。それでは、1 学期、よくがんばりましたね。よい夏休みを！

保護者の皆様へ

お陰様で、本日をもって一学期が終了しました。保護者の皆様におかれましては、日々、様々な場面で本当に多くのお支えをいただきました。この一学期間に賜りました多大なるご理解とご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。明日から夏休みとなりますが、生徒にとりまして有意義な休みとなりますよう、これまで同様にご指導よろしくお願い申し上げます。

夏休み中に学校または、学校職員と連絡を取る必要が生じた場合は、週休日、および 8/12(月)～16(金)につきましては、市役所(72-2101)に連絡をお願いいたします。これ以外の日は、学校に当番がおりますので、学校に連絡をお願い致します。

生徒同様に、保護者の皆様にとりまして、安全、健康でよい夏となりますことを祈念いたしております。

生徒に関すること、スクールソーシャルワーカー(SSW)、スクールカウンセラー(SC)への相談等ご希望がありましたら、お気軽に学校までご連絡をお願いします。また、「育ちあいちの」へ相談は随時行えます。ぜひ、ご利用ください。

茅野市立東部中学校
濱 喜一郎(校長)
〒391-0011 茅野市玉川 10030
電話 79-5050 Fax 79-5242